

宣 言

高知県小中学校長会は、結成以来、本県小中学校教育の充実発展のため鋭意努力を重ね、着実にその成果をあげてきた。

しかしながら、今日、知識基盤社会にあつて、あらゆる分野で情報化やグローバル化が進展するなか、社会の多様化と急激な社会環境の変化により将来の予測が困難になっている。特に、絶え間ない技術革新とともに、人工知能（AI）は、飛躍的な進化を遂げており、近い将来人類の知能を超えるという指摘もある。人としての生き方が今以上に問われる時代を目の前に控え、少子高齢化、人間関係の希薄化、子どもの貧困問題など、教育環境にも関わる多岐にわたる課題が顕在化している。加えてコロナ感染が残る中、学校運営に関しての判断をしなければならない。

この時にあたり、われわれ校長は、これらの現状を深く認識するとともに、その職責の重大さを自覚し、より良い学校教育を通じて、より良い社会を創るという目標を共有し、社会と連携・協働しながら、子どもたちに未来の創り手となるために必要な資質・能力を育むため、「社会に開かれた教育課程」を実現し、県民の信頼に応えなければならない。

そのために校長は、自らを律し不断の努力と決意のもとリーダーシップを発揮し、変化の激しい21世紀の国際社会を力強く生きぬくグローバル人材の育成を目指したカリキュラム・マネジメントの充実を図らなければならない。また、新学習指導要領の理念を十分に理解し、活力ある学校組織体制を確立するとともに小中学校長会として「自ら未来を拓き、ともに生きる豊かな社会を創る児童・生徒を育てる学校教育の推進」に邁進し、本県教育の充実発展に努めなければならない。

決 議

- 一、「生きる力」の育成を目指し、校長としての意識の高揚と識見の向上に努め、明確な学校経営ビジョンのもと、教育課程の編成・実施・評価・改善に努める。
- 一、教職員の服務規律の徹底を図るとともに、高い倫理性と教育的愛情をもった教職員を育成し、県民の信頼に応えることができる学校づくりに取り組む。
- 一、家庭・地域社会との連携のもと、「開かれた学校づくり」を推進し、互いに信頼関係を深め、学校内外における児童生徒の安全対策強化に努めるとともに、南海トラフを震源域とする巨大地震に備えた防災教育の推進に努める。
- 一、教職員の資質・指導力の向上を図り、児童生徒の学力・体力問題及び生徒指導上の諸問題などの状況を的確に把握し、その問題解決を図る組織体制づくりを推進する。
- 一、人権教育、道徳教育、特別支援教育、キャリア教育、ICT教育の推進及びへき地・小規模・複式教育等の充実努めるとともに、特色ある教育活動の充実を図る。
- 一、「義務教育費国庫負担制度の堅持及び国庫負担率2分の1への復元」並びに「人材確保法」の堅持に向けて関係機関と連携し、教育水準の維持向上を期する。
- 一、教育諸条件の整備及び教職員給与の適正化と職責に見合う処遇の改善に向け、教育行政との連携を一層強化する。

令和5年5月12日

第56回高知県小中学校長会総会